

|       |       |      |     |   |       |      |      |
|-------|-------|------|-----|---|-------|------|------|
| 指定校番号 | 29027 | 学級活動 | 児童会 | ○ | クラブ活動 | 学校行事 | 小学校用 |
|-------|-------|------|-----|---|-------|------|------|

## 平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

|     |           |    |       |        |       |
|-----|-----------|----|-------|--------|-------|
| 学校名 | 庄原市立庄原小学校 | 校長 | 西田 早苗 | 生徒指導主事 | 深田 剛史 |
|-----|-----------|----|-------|--------|-------|

## 取組事例名 『さわやかあいさつ推進委員』

## 取組のねらい『キーワード：自主的・自発的』

本校の児童は、あいさつに対する意識が高まりつつあり、友達や先生に対してはよくあいさつをしている。しかし、校外に出ると、保護者の方や地域の方にはあいさつが十分にできていないという課題がある。

また、校内であっても、外部から来られた方にはなかなか自分からあいさつができていない。さらに、あいさつをしている児童とそうでない児童が二極化している傾向にある。そのため、誰に対しても自分からあいさつができるように、本取組を実施した。

## 身に付させたい資質・能力

- 課題を見つけ、追究する力
- 相手に伝える力
- 自らの学びへの自信

## 取組の具体的内容『キーワード：役割意識・責任感』

月ごとに各学級から2名、「さわやかあいさつ推進委員」（以下、あいさつ委員）を認定する。認定方法は立候補、推薦と学級により様々である。認定されたあいさつ委員を中心に、各学級で、あいさつに関する課題について話し合い、それを解決するための目標を設定する。そして、1ヶ月の終わりにはその目標の達成度について振り返りを行う。

また、あいさつ委員に認定された児童は、朝登校したら校門の前で児童会執行部の児童とあいさつ運動を行う。あいさつ委員に認定された児童には「あいさつバッジ」を渡して、胸に付けさせる。



校門であいさつをする児童達



校内でもあいさつをしています

## 取組の課題・創意工夫『キーワード：責任感』

本取組の工夫点は、あいさつ委員を認定し、その児童に缶バッジを渡すことである。目に見える形で役割を意識することができ、より責任感が増す。自分が任せられている、という自信にもつながる。周りで見ている児童や保護者の方にも、あいさつ委員が誰であるかが分かる。



### **取組の成果（効果）『キーワード：相乗効果』**

本取組によって、児童のあいさつへの意識はさらに高まっている。あいさつ委員は自分が任されたという使命感から、それまでよりも自主的・自発的にあいさつをするようになった。また、周りにいる児童も、あいさつ委員のように、あいさつ委員を見習って、という気持ちであいさつをしている。さらに、全ての学年が一緒になって取り組むので、低学年は高学年のあいさつを見ながらそれを真似し、高学年は低学年のよい手本になるようにと意識をする。このように、児童同士が意識し合い、互いにあいさつレベルを高めていくという相乗効果が得られる。

本取組を始めた後に、全児童を対象に生活アンケート（2学期の状況）を行った。そのアンケートでは、あいさつに関する項目において、自分からあいさつをしていると回答した児童が1学期よりも増えていた。

### **今後の展開『キーワード：学級から学年，全校児童へ』**

今後の取組としては、学級で話し合っているあいさつに対する課題を学年で話し合っ、学年としての目標を決めていく。そうすることで、学年で統一した指導ができると共に、児童が共通の課題をもってあいさつをすることができる。

さらに、学年で話し合った課題を、月に1回の代表委員会で話し合い、庄原小学校としての課題をあげていく。そして、次の月にはその課題をもとに児童会が月目標を設定し、全校で取り組んでいく。

### **他校へのアドバイス『キーワード：評価』**

本取組を進めるに当たって、あいさつ委員の意欲が持続するように、様々な方法で評価をしていく必要がある。学級の中で評価し、あいさつ運動をしている場面で評価し、全校朝会では全体で紹介する。生徒指導通信等で保護者へもがんばりを知らせ、PTAの日には玄関前のホールであいさつの様子をビデオ撮影したものを流して見ていただいた。たくさんの人にがんばりを知ってもらうことで、児童はますます意欲をもって取り組むことができる。